

# 志小安全・防災だより



R元.7. 1 NO.13  
安全・防災担当：早坂 潤

## 交通ルールを守って校外学習を行うことができました

天候が心配された2年生の校外学習でしたが、好天の中で行うことができました。出発前に担任より、道路を歩く際のルールを話しました。これまで行われた交通安全教室や先日行われた徒歩での下校指導での学びが活かされていて、勝手な行動を取ったり、みんなに迷惑がかかるような歩き方をしたりする子はいませんでした。給食センター、生涯学習センターそしてさんさん商店街に着いたころにはおなかのすいたようで、食べ物のおいしそうなお写真やお菓子を焼いているととてもいいにおいから、あれ食べたい、これ食べたい、の声が聞こえてきました。歩く距離は長かったのですが頑張りました。



みんなこの辺りは、まだまだ元気いっぱい  
で歩いています。この道をまっすぐ行くと右  
左側に給食センターが見えてきます。



生涯学習センターの中には、図書館だけで  
なく公民館も入っており、いろいろなイベ  
ントができる部屋がありました。

## 現在、災害への備えが十分であるのかを考えさせられました

先日は、山形県沖を震源とする大地震に驚かされた方も多かったと思いますが、これからの季節は、地震だけでなく大雨による地盤のゆるみから土砂災害も大いに考えられます。6月が「土砂災害防止月間」に定められている理由などはこれまで話してきましたが、どこにいても自然災害は起こりえることであり、いざというときにどのようにして身を守ればよいかの判断が自分の命を守ることに繋がります。さらなる防災安全教育の充実を目指して、今後学校でも取り組んでいきます。

## うさぎの赤ちゃんがだいぶ大きくなりました

仲松さんのウサギ小屋に、とてもかわいい子どものウサギがいますが、とても大きくなりました。今では、親ウサギに負けないくらい餌を食べているとのことでした。休みの日にウサギを見に来る子どもたちが増え、仲松さんも喜んでいましたが、道路の横断には十分気を付けてほしいと語っていました。

